

(花育活動実践事例2)

千葉市立金沢小学校における花育ワークショップ事例

平成20年11月29日
全国花育活動推進協議会事務局
財団法人日本花普及センター

1 実施の経緯

平成20年8月には、生活科教育研究会等と提携して教職員等を対象としたワークショップを実施したが、このワークショップに参加した金沢小学校の生活科担当三上先生が花育体験を小学校の特別授業(11月29日)として取り入れたいと考えた。

この日は、高杉氏の日程調整がつかないので、社団法人日本生花通信配達協会(JFTD)に協力要請した結果、JFTD千葉県支部の協力を得て、習志野市教育研究会での花育ワークショップ事例を参考にして花育ワークショップを行うことになった。

また、千葉県旭市の花き生産者(シクラメン、アジサイ栽培)のご姉妹が、押し花を活用した簡単な絵はがきづくりを指導できるので、協力要請した。

第18回生活科教育研究会全国大会との提携による花育ワークショップ等

日時：平成20年8月6日(水)～7日(木)

場所：東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年総合センター

内容：花育ワークショップや分科会に花育活動推進委員会委員が協力出演
8月6日(水) 13:00～

交流広場：花育・ワークショップ 高杉揚子

(ペットボトルによる花瓶づくりとフラワーアレンジ)

第Ⅱ分科会：幼児教育から学ぶ(御殿山幼稚園花育活動) 山崎紀子

2 金沢小学校のスペースフェスタ(生活科授業の学習発表会)における花育計画

日時：平成20年11月29日(土)

8:50～9:50 フラワーアレンジ及び花束の制作

9:50～10:00 (休憩)

10:00～10:20 押し花による絵はがきの制作

10:20～11:00 花屋さんによるデモンストレーション

場所：千葉市立金沢小学校 ワークスペース(特別教室)

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野南5丁目3-1

対象：2年生 4クラス 118名(保護者も参観日で参加)

(牛乳パックやペットボトルによる花瓶づくりとフラワーアレンジ等)

指導： J F T D千葉県支部の会員（寺坂支部長等6名）

資材： 花の資材（バラ、カーネーション、ガーベラ、フリージア、クジャクソウ、レザーフアン等）は、児童1当たり10本程度をバケットに入れて準備し、生徒に選択できるようにする。

なお、花の生産地等を説明するとともに、生徒には使用した花を記入するレシピを準備してもらおう。

材料費等： 小学校サイドが事前に参加費として500円を徴収する。
ただし、指導者の謝金は、ボランティアとして無償でお願いした。

- 内容： ① 牛乳パックやペットボトルによる花瓶づくり及びフラワーアレンジと簡単な花束づくり。ただし、作業時間の関係で、牛乳パックやペットボトルのカットは事前に行い、準備する。
- ② 花屋さんによるフラワーアレンジのデモンストレーションと花屋さんへの質問等

(押し花による絵はがきづくり)

指導： 千葉県旭市の花き生産者のご姉妹 原野氏（船橋市在住）等2名

内容： 指導時間が10時から20分間であり、簡単な押し花による絵はがきを作製

資材： 押し花（アジサイ、シクラメン等）、パウチ用ビニール用紙、はがき等
130名分を個別に封筒へ入れて、児童に渡せるように準備する。
なお、はがきは、配布直前にスプレー糊を噴霧して手渡す。

資材費等： 今回は、全国花育活動推進協議会の実験事業として位置づけ負担（1人当たり170円）した。ただし、指導者の謝金はボランティアとして無償でお願いした。

児童に用意してもらいたいもの： はさみ、ピンセット（押し花をつまむための道具、なお、牛乳パックの用紙でも簡単に作成できる。）

パウチ作業： パンチ装置（原野氏1台、金沢小学校1台、花普及センター1台）を使用
なお、パウチ作業は、時間が係るので、参加者には、はがきに氏名を記入して、完成した作品を提出してもらい、J F T D関係者のデモンストレーションの間にパウチ作業を行う。



三上先生による特別授業の説明



寺坂JFTD千葉支部長による花の説明



児童の花の選び



選んだ花レシピ



クラスでの花瓶づくり



クラスでのフラワーアレンジ



仲間と楽しくフラワーアレンジ



家族で楽しくフラワーアレンジ



児童の作品展示



花屋さんのデモンストレーション



花屋さんへの質問



原野氏による押し花の説明



児童の押し花作品



自慢の押し花作品を指導者と記念撮影

